

横浜キャンパスでは、午前は10時からメディア情報学部、午後は13時から環境学部の連絡会が行われました。両学部とも、全体説明会をそれぞれ実施した後、学科・学年別に懇談会を行い、その後、希望者に個別面談を実施しました。

メディア情報学部の全体説明会では、学部長の岩野公司教授より、学部の現在の学生数、コロナ禍における授業対応の様子、留学プログラムの実施状況などについて説明がありました。学部の近況として教員や授業科目についても紹介があり、「現在、学部には20名の教員が所属しており(2021年9月1日現在)、規模は決して大きくないものの、きめ細やかな教育・研究を進めています」との説明がありました。

続いて教務委員長の藤井哲郎教授が、単位の取得や大学院進学について説明し、「(保護者のみなさんには)単位の取得状況を記した成績通知書を発送しているので、しっかりと確認してほしい。大学院に進学することのメリットは、専門性の高い企業に就職できることや、初任給が学部卒よりも高額であることなどがあげられます」などと話しました。また、就職状況に関しては、横浜キャンパスキャリア委員長らが「21年度の求人倍率は昨年度と比べて0.3ポイント

下がったが、22年度は微減に留まりました。コロナ禍を機に就活事情が変わり、厳しい状況もあるが都市大での就職状況は堅調です。低学年時からキャリアサポートを行い、3年次には全員と進路面談を行うなど一人一人をサポートする体制を整えています。家庭からのサポート時は本人の主体性を大切にしてほしいなどの解説がありました。

続く学科・学年別の懇談会では、情報システム学科3～4年生の保護者から、「オンライン授業で学生の理解度を把握できているのか」との質問があり、「授業中だけでなく、授業外にもメールなどで質問を受け付けている。分からないまま授業が進まないよう、小テストを行うなど、受講生の理解度把握に努めています」との回答がありました。

横浜キャンパスは私たちが取材しました！



環境創生学科 2年

平田 結佳

今年は後輩を率いての取材で責任重大でしたが、無事終了。保護者のみなさんのご協力に感謝です。

環境創生学科 2年

寺尾 聡子

2回目の保護者会取材ですが、緊張しつつ放しでしたが、来年はもっと良い取材ができるようがんばります！

児童学科 1年

中村 真純

初めての対面取材でしたが、保護者のみなさんが快く応じてくださり、とても嬉しかったです！



全体説明会では学部の概要や、単位・大学院、就職などについて詳しく解説されました。



情報システム学科のクラス懇談会では横井教授の自己紹介のあと質疑応答が行われました。

参加された保護者の方々の感想



社会メディア学科 1年
鈴木 花恋さんのお母さん

ふだん子どもから大学について詳しく話を聞く機会がないので、都市大の現状などを知りたくて参加しました。初の横浜キャンパスですが、開放感があって良い雰囲気です。



情報システム学科 4年
田川 幸樹さんのお父さん

キャンパスを訪れるのは2回目です。4年生なので、就職の状況や大学側の対応について話を聞きたくて、今回参加しました。(子どもには)自分で学ぶ力を培ってほしいですね。



環境創生学科 2年
伊藤 洸太さんのお母さん

東京都市大学オーストラリアプログラムの留学が現在休止されているようですが、早く実施してほしいです。少しでも多様な体験を積んでもらいたいと思います。

都市大はオンライン授業ですが、対面式を実施するための基準がどうなのか、知りたくてきました。

環境創生学科 2年

私たちの時代は保護者の連絡会などありませんでした。都市大の面倒見の良さを感じています。

環境創生学科 1年

コロナ禍の学びを知りたくて、オンラインでも人と上手につながる仕組みができるとよいですね。

環境経営システム学科 1年

対面式より、オンラインの方がチャットで気軽に質問できるそうです。不安はとくにありません。

情報システム学科 4年

取材にご協力いただきありがとうございます。

等々力キャンパスでは、13時から都市生活学部と人間科学部の各学部連絡会が行われました。都市生活学部では、密になることを避け、1～2年生と3～4年生、それぞれの教室を分けて実施しました。

都市生活学部の学部別説明会では、学部長の坂井文教

授が、「世界規模で都市人口が増加するなか、都市生活が注目され、複雑化する都市の課題を解決する人材が求められています。本学部は魅力的な都市空間を生み出し、人々の生活を豊かにするプロフェッショナルを育てています」と話し、「3・4年次には、研究室に所属し、実際のプロジェクト